



小中一貫教育だより

平成27年 4 月 30日 No.13
 (小中一貫教育推進だよりから 通算No.48)
 十日町市教育委員会学校教育課

今号の 主な内容	蔵品泰治教育長巻頭言(P1) 教育委員会職員紹介(P2, 3)、教育センターから (P5) 平成 27 年度の小中一貫教育(P3) 各中学校校区の取組予定(P6～7)
-------------	--

小中一貫教育完全実施 2 年目にあたって

十日町市教育長 蔵品泰治



十日町市の学力向上等の課題解決に向けた小中一貫教育は、4つのモデル中学校校区が平成23年度から3年間の試行を行いその成果を踏まえ26年度に全中学校校区で完全実施し、本年度は2年目を迎

えました。これまで数多くの教職員の皆様の知恵と汗とで積み重ねてきた十日町市の小中一貫教育の姿に感慨深いものを感じており、これまでの取組に心からの感謝を申し上げます。

さて、この小中一貫教育だより“つながる”は、モデル中学校校区が試行を始めた翌月に第1号が発行されました。あらためて第1号から目を通してみて、当初担当された平野久美嘱託指導主事の「思い」に触れることができました。

第1号では、「“つながる”は、一貫した考えのもと、心でつながり、行動でつながる教職員のそんな姿の実現を願って名付けた」とあります。

第3号では、「プールの内側の縁に沿ってクラス中の子どもが同じ方向を向いて歩くと、最初は水の抵抗があつて前に進みにくいけど、暫くすると水の流れができ楽に歩けるようになる。学校の課題解決にも同じイメージを持って取り組んできた。教職員がばらばらに頑張っても成果に結び付きにくい。今はどんなことが大切か。その方向に向かって、皆がそれぞれの力で、持ち場で実践する。そうするとプールでの流れのような力が子どもに届く。保護者にも地域にも届く」とあります。

第4号では、「呉市での小中一貫教育全国サミットに参加して、一番心に残ったのは、『できることからではなく、大切なことから始めることが重要』という宇都宮市教育委員会の言葉である。できることからでは、何が大事であるかという検討が不十分なまま、手軽に良さそうなことから初めてしまうという危険性があるということに気付かされた。これでは、課題に正対した取組にならず成果も上がりにくい。皆でじっくりと検討し『一番大切なことを明確にする』ことが重要である」とあります。

第5号では、「連携から一貫へ」というタイトルで、「『連携教育』とは、互いに密接に連絡を取り合いながら教育活動を進めること。『一貫教育』とは、教育の目標や指導の方針等を同じくして教育活動を進めること。異なった教育目標と学校文化を持っている各学校が、『連携』から一歩進め、中学校区というくくりの中で共通の目標や指導の計画を持ち、それに基づいて教育活動を進める十日町市の『一貫』への取組は試行が始まったばかり。急がず、しかし着実に。必ずや成果は上がる」とあります。

4年前に平野嘱託指導主事が悩み、模索しながら担当した小中一貫教育の推進に対する「思い」の極一部をご紹介させていただきましたが、本格実施2年目の現在にあっても心に留めておかなければならないキーワードが幾つもあるように感じます。

「ふるさと十日町市を愛し、自立して社会で生きる子どもの育成」に向け、私も改めて先達に学びつつ教職員の皆様と一緒に玉の汗を流したいと願っています。

■ 学校教育課関係スタッフを紹介します。

よろしくお願いいたします。



富井 敏 教育次長

市内全ての中学校区で小中一貫教育推進の取組を実施してから、2年目を迎えました。今後は、小中学校間の子どもたちや教職員の連携はもちろんですが、学校と行政、地域、家庭がさらに連携を深めることが求められると感じています。

本職2年目となりました。小中一貫教育の推進のお役に立てるよう、日々励みたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

学校教育課



後列左から

武田 篤指導主事 **金崎隆行**課長補佐

宮澤 均指導主事

前列左から

川崎正男指導管理主事、**島田敏夫**学校教育課長

学校教育課小中一貫教育係



後列左から

池田里美主査、**丸山チエミ**臨時職員、

高橋 忍主査栄養士

前列左から

樋口孝義嘱託指導主事、**滝沢直子**係長、

丸山公一嘱託指導主事

教育センター学習指導班



後列左から（職名は嘱託指導主事）

武田 篤指導主事 **岩田雅己**、**徳永袈裟一**、**池田正義**

前列左から（職名は嘱託指導主事）

尾身辰二、**高橋政子**、**阿部道夫**

教育センター教育相談班



後列左から（職名は相談員）

野本光子、**村山千恵子**、**柳れい子**、**白倉節子**特別支援教育相談員、**上村裕子**

前列左から（職名は相談員）

小海貴代美、**宮沢ハルエ**、**樋口弘之**嘱託指導主事、**草村慶子**、**高橋喜美**※欄外：**服部令子**特支相談員





後列左から

Jet-ALT パトリック、市単JFA 関口仁彦、
市単ALT 高橋 貢、Jet-ALT ダニエル

前列左から

Jet-ALT ケリー、Jet-CIR メアリー、
市単JFA 小林理恵、Jet-ALT ジョイス

※Jetとは、「語学指導等を行う外国青年招致事業」

■平成27年度小中一貫教育の取組概要です。

詳細は、掲示板の「平成27年度十日町市小中一貫教育実施計画」をご覧ください。

（1）重点目標

- ①重点目標1「不登校の減少」 不登校児童生徒数の割合を平成26年度より少なくする。
平成26年度不登校だった児童生徒に関わる不登校日数の学校内合計を平成26年度より少なくする。
- ②重点目標2「学力の向上」 NRTで全学年・全教科の平均点数が全国平均点以上にする。

（2）中学校区の取組事項

- ①「目指す子どもの姿」を明確にし、計画的に推進する。
- ②中学校区が実施している小中一貫教育に関する取組を「児童生徒にとって有益な取組となっているか」の視点で見直し、継続的な確かな取組になるよう重点化を図る。
- ③教職員は「中学校区の課題」を共通認識し、小中9年間のつながりを意識した授業改善に取り組むなど「課題解決のための具体策」を実践し、振り返り、改善する。
- ④児童生徒の育ちを0～18歳までを見通して考え、地域の教育力を高め、「基本的な生活習慣の定着」「食育」「メディア教育」「キャリア教育」等について家庭や地域と協働して推進する。
- ⑤小中一貫教育推進における「教職員・保護者アンケート」「児童生徒アンケート」を実施し、その取組評価を活用し、見直し・改善を進める。
- ⑥教育系ネットワークを有効活用し、中学校区及び全中学校区で情報共有、情報交換をする。
- ⑦保護者や地域へのたよりや学校ホームページなどで小中一貫教育の取組を広く発信する。
- ⑧小学校と中学校の教職員が、授業参観・教材研究・授業研究・生徒指導等で日常的に交流したり、教科の補完等により積極的に交流したりして小中一貫教育を進める。また、学習指導や生徒指導のみならず、それぞれの立場で小中一貫教育の視点からの交流を進める。
- ⑨各中学校区単位で「1日異校種体験研修」を実施する。

（3）本年度の主な研修について

- ①（継続）中学校区合同発表会兼教職員研修会
南中学校区、下条中学校区、水沢中学校区の実践発表を参考にしながら、自中学校区の小中一貫教育の推進について積極的な意見交換をする場とする。
- ②（新規）1日異校種体験研修
「小学校と中学校の教職員が、互いに異校種で1日教育活動を行う（参加する）ことにより、相互理解を深め、より充実した9年間を見通した一貫性のある指導ができるようになる」ことをねらいに、「1日異校種体験研修」を新規に行う。

■ 4月の研修の様子です。



【スクールオフィス研修】



【小中一貫教育研修・グループ討議】



【コーディネーター研修】

4月3日（金）、6日（月）、9日（水）の3日間、情報館で「新任・転任教職員研修会」を行いました。

小中一貫教育について、4～5人のグループで自分の考えを出し合いました。

「今まで全く知らなかったが、丁寧な説明で理解することができた」「小中一貫教育についてもっと学びたいと思った」「十日町市に勤務するのが楽しみになった」などの感想がありました。

4月15日（水）に千手中央コミュニティセンターで行った、「コーディネーター・統括コーディネーター研修」の様子です。

「小中は日々交流しているが、このような形でじっくり話し合うことができ、有意義だった」「今後の見通しができた」「1日異校種体験、合同発表会の内容を詰めることができた」「重点を決め、ビジョンを全職員が共有できるよう、コーディネーターの責務を果たしたいという気持ちをもてた」など、とても意欲的な感想をお聞きました。

■ よろしくお願ひします

平成27年度の中学校区統括コーディネーター及び各校のコーディネーターを紹介します。

※ 網掛けは新任の方です。

中学校区	統括コーディネーター	コーディネーター	
拡大中学校区 (十日町・中条)	田村 晃夫 (十日町中)	飯吉 文弘 (十日町小)	風間 文子 (中条小)
		山田 直美 (東小)	高笠 大裕 (飛一小)
		田村 晃夫 (十日町中)	久保 俊幸 (中条中)
南中学校区	佐藤 孝幸 (南中)	金澤登代子 (川治小)	若井 義弘 (西小)
		佐藤 孝幸 (南中)	
吉田中学校区	川合 徹人 (吉田中)	戸田 孝之 (吉田小)	近藤 博道 (鑑島小)
		藤木 雅彦 (吉田中)	
下条中学校区	庭山 敦 (下条中)	水口 正則 (下条小)	庭山 敦 (下条中)
水沢中学校区	羽鳥賢太郎 (水沢小)	羽鳥賢太郎 (水沢小)	市村 信明 (馬場小)
		阿部 勝良 (水沢中)	
川西中学校区	高野 昭一 (川西中)	佐藤 俊昇 (千手小)	中川 智子 (上野小)
		浅山 景 (橘小)	高野 昭一 (川西中)
中里中学校区	川尻 優 (田沢小)	栗林 育雄 (田沢小)	小堺 香織 (倉俣小)
		本山 賢 (貝野小)	村山 裕之 (中里中)
松代中学校区	太島 誠 (松代中)	上村 みほ (松代小)	太島 誠 (松代中)
松之山中学校区	小林 貴英 (松之山中)	野島 聡子 (松之山小)	小林 貴秀 (松之山中)
	9 中学校区	19小 10中	

自校のコーディネーターと統括コーディネーターを兼ねている人もいます。

教育センターより



エキスパート教員研修について

(文責：教育センター 指導主事 武田 篤)

他の教員のモデルとなるような優れた教育実践を行っている教員を「エキスパート教員」に委嘱し、その高い教育指導技術を普及することにより、教員の指導力向上を図ることを目的に、今年もエキスパート教員研修を実施します。

【歴代エキスパート教員】

第1期（平成25年度）	十日町小学校	教諭	大島 貴子（小学校国語）
	南中学校	教諭	影山 裕一（中学校理科）
第2期（平成26年度）	千手小学校	教諭	山田 弘史（小学校算数）
	松之山中学校	教諭	丸山 義則（中学校国語）
	十日町中学校	教諭	南雲 恵子（中学校理科）

【今年の予定】

- 4 月 エキスパート教員の推薦
- 5 月 エキスパート教員の委嘱
- 2学期 エキスパート教員による授業公開

エキスパート教員による授業公開が決まりましたら、ご案内します。多数の参加をお待ちしています。お楽しみに！



コラム・生徒指導

新たな不登校を生まない学校づくりを！

(文責：学校教育課 指導主事 宮澤 均)

平成25年度、市内の不登校児童生徒数は、小学校12人(0.43%)、中学校56人(3.99%)で、小・中学校とも県と全国の平均を上回っています。平成26年度も、暫定値ですが、昨年の数値を上回り、依然として深刻な状況が続いています。不登校の原因は様々ですが、学校、家庭、相談・医療機関が連携して、総合的なサポートをしていく必要があります。

市教育センターでは、「新たな不登校を生まない学校づくり（不登校児童生徒を減らす）」を目指し、年間を通じて不登校研修会を実施します。（講師 新潟大学教育学部教授 神村 栄一様）特に、初期対応の徹底と個の状況に応じた支援体制づくりに向けて、教職員の指導力の向上を図ります。また、現在不登校状態の児童生徒については、市適応指導教室(にこやかルーム、教育センター)や校内適応指導教室の活用を図り、学校復帰を支援します。各学校では、市適応指導教室(にこやかルーム、教育センター)の積極的なPRとにこやかルームのイベントへの参加の呼びかけをお願いします。

何よりも、児童生徒が学校に行きたいと思えるような魅力ある学校づくりを進めるとともに、職員が日常的に児童生徒の情報を交換し、早期発見・早期対応し、不登校にならない学校体制づくりをお願いします。

■中学校区を取組紹介（４月～５月）

中学校区名	４月の取組	５月の取組予定
拡大中学校区	■ ４月 21 日（火）小中情報交換会（徳育部会） 中条中と十日町中学校において、中学校１年生の授業参観（十日町中；英語・美術、中条中；理科）を行いました。小学校の６年生時の担任他が参加し、中学１年生の主任と担任が情報交換を行いました。	☐ ５月 １ 日（金）第１回推進会議 15:30～十日町中 ☐ ５月 12 日（火）～５月 14 日（木） 中学校１年生が、出身小学校に出向き、挨拶運動を行います。 （１日５名程度）
南 中学校区 	中１ギャップ解消の取組の一環として、小小間、小中間の交流活動を通して、児童生徒の望ましい人間関係を深め、中学校進学に向けた夢や希望を高める交流活動です。	☐ ５月 １ 日（金）南の森の春祭り 14:50～15:40 南中学校体育館で、和楽器（三味線）演奏の鑑賞と体験を行います。 演奏者は「あんみ通（安仲由香さん、金田一公美さん）」です。
吉田中学校区	■ ４月 22 日（水）吉田地区校長教頭教務主任会を行い、今年度のグランドデザイン等の検討をしました。 ■ ４月 30 日（木）吉田地区教育振興会総会 小中一貫教育に関わる３部会の実施	☐ ６月の各事業について、小中合同の打ち合わせを適宜実施します。
下条中学校区	■ ４月 30 日（木）小中合同職員会議。 下条小学校と下条中学校の教職員が一堂に会する合同会議。自己紹介、今年度の活動の確認。	☐ ５月 15 日（金）小中交流活動始めの集いを行います。 ☐ ５月 23 日（土）下条小運動会に、中学１年生が参加の予定です。
水沢中学校区	■ ４月 22 日（水）地区教職員協議会役員会  中学１年生に関する情報交換を行います。	☐ ５月 １ 日（金）市教委訪問及び地区教職員協議会総会・各部会 ☐ ５月 8 日（金）進学指導委員会 ☐ ５月 29 日（金）地区教頭・教務主任会
川西中学校区	■ ４月 10 日（金） 川西地区教職員総会 小中交流活動を通して、いじめを生まない土壌を育みます。 中１ギャップ解消のための情報交換を行います 15:00～川西中	☐ ５月 11 日（月）～15 日（金）パワーアップ週間（生活習慣） ☐ ５月 12 日（火）小中連絡会 ☐ ５月 15 日（金）なかよし集会① ☐ ５月 26 日（火）いじめ見逃しゼロ川西集会 10:30～11:30 川西中
中里中学校区	■ ４月 24 日（金）リコーダー講習会 田沢小、貝野小、倉俣小の３年生（４年生）が田沢小に集まり、一緒にリコーダー講習会を行いました。	☐ ５月 １ 日（金）市教委計画訪問 兼第１回中里地区教職員研修会
松代中学校区 	■ ４月 8 日（水）松代中学校入学式で新たな 17 人の新入生を迎えました。上級生とともに順調な学校生活をスタートしています。本格実施の小中一貫教育の成果が少しずつ表われているように感じます。 ■ リーフレット「松代中学校区小中一貫教育」を作成し、小・中のＰＴＡ総会で配付しました。また全戸回覧で地域にも広報しました。	☐ ５月 8 日（金）松代地区教育振興会・市教委計画訪問 14:30～松代小学校 ☐ ５月 31 日（日）松代小運動会 小学校の運動会で、中学生が運営のお手伝いをしたり、選手として競技に参加したりして、小中学生の交流を行います。

次ページに続く

松之山中学校区	■ 4月30日（木）松之山中学校区教育講演会 「アクティブラーニングが高める確かな学力」と題し、 田村学講師（文科省初等中等教育局教育課程教科調査 官）が講演を行いました。学区外からもたくさんの 参加者がありました。	□中学校の行事ですが、ユニークな 「山菜採り活動」を行っています。 採取から販売までの活動を行い、 収益は生徒会活動の資金としま す。 5月18（月）を予定しています。 販売は、午後4時半頃に松之山温 泉街で行います。
-----------------------	---	---

